

事務事業名	コード1	1709	消防施設整備事業	課	警防課			
	コード2	②	消火栓維持管理工事	所属班	警防班			
				☑ 主要事業	電話番号	63-5357	内線	
政策体系	基本方針	1	安全で魅力のあるまちづくり	予算科目	会計	款	項	目
	施策	4	消防・防災対策		一般会計	09	01	01
	施策の展開	1	消防・防災体制の充実	根拠法令	消防法第20条第2項 水道法第24条第1項			
	基本事業	52	消火栓及び防火水槽の整備					

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	旭市総合計画の策定もあり、市民の生命及び財産の保護のため、火災等の災害に備え計画的に消火栓を設置する。また市内に設置されている消火栓が常時良好に使用できるように、腐食したボルト交換等を行い、安全な消防活動ができるように維持管理する。 【業務の流れ】 ①市民又は消防関係からの水利状況の悪い地区への消火栓設置要望により、水道課に設置依頼書を提出し設置する。また、市内の配水管のループ化や配水管新設により消火栓を設置する。 ②市内に設置されている消火栓を定期的に点検し、不具合箇所を把握、水道課に修繕の依頼をし修理する。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)	
19-1-810 消火栓設置費負担金	千円							
19-1-815 消火栓維持管理費負担金	千円							
② 延べ業務時間の内訳	人員							
・現地調査、現場確認、設計、起案、各工程検査立会い	時間							
事業費	事業費計(A)	千円	9,399	7,181	5,913	10,640	0	0
人員	正規職員従事人数	人	0.06	0.06	0.06	0.13		
	延べ業務時間	時間	124	116	122	272		
	人員費計(B)	千円	471	441	464	1,034	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,870	7,622	6,377	11,674	0	0

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 新設消火栓設置(2基) 既設消火栓修繕(108基)	ア 新設消火栓設置数	基	11	4	2	4		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 新設消火栓設置(4基) 既設消火栓修繕(63基)	イ 消火栓修繕数	基	110	115	108	63		
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	市民及び消防団員・消防職員	ア 消火栓数	基	1,534	1,538	1,540	1,544		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	安全で迅速な消防活動をし、市民の生命財産を保護する。	ア 公務災害の減少 ()	件	0	0	0	0		
		イ 火災時に消火栓が使用できなかった件数 ()	件	0	0	0	0		
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	2次災害の防止 市民への安心感	ア 消防水利の充足率の向上 ()	件	0	0	0	0		
		イ 安心感 ()							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
上水道整備事業開始に伴い、計画的に消火栓を設置し迅速な消火活動ができるよう旭市総合計画に組み込んで実施している。また、ボルトの腐食等で老朽化し危険な消火栓を修理し、安全な消火活動を確保するための維持管理が必要になったため。	市町村合併による配水管のループ化に伴い消火栓を設置していたが、ループ化が終了し区・消防からの要望での設置に変わってきている。また、消火栓設置から年数が経ち、修繕箇所が増加している。	地区・消防関係より設置・修繕要望が多く寄せられている。

事務事業名	消防施設整備事業 消火栓維持管理工事	課名	警防課	班名	警防班
-------	-----------------------	----	-----	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の政策体系に結びつかか？意図することが上位目的に結びついているか？	火災等の災害時にいち早く防衛体制がとれ、被害の軽減につながる。また、消防団員・消防職員が安全に消防活動ができる。
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	消防隊が使用するため。
	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	市の水道管事業と消防防災に関連しているため。
	④ 成果の現状水準	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	消火栓設置に関しては、市内の消防水利の充足率は、63%で平成21年度の調査の全国平均80.4%より低いが、防火水槽設置数との関係もあるので、消火栓修理と同様に年度目標に達している。
	⑤ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	市内の消防水利の充足率は、63%と低いため充足率向上の余地がある。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (1) 事務事業名：(防火水槽設置・標識設置工事) (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	防火水槽設置工事と連携することにより、消防水利の充足率の向上に期待ができる。
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	未だ修繕が必要な消火栓が多数あり、消防水利の充足率も低いいため削減は難しい。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	消火栓維持管理工事は市の水道課へ負担金を出し依頼(内部委託)しているため。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	使用者は消防団員・消防職員であるが受益者は市民全体であるため。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	継続的、計画的に事業を執行する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																						
(2) 改革改善案について	※いつまでに、なにを、どうするのか？	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
① 配水管の新設・交換計画の情報の共有が必要になる。 ② 水道課との事前協議がスムーズに行くか問題がある。 ③ 水道課との事前協議が必要になる。 ④																							